

千松小学校の人権教育～大切な子どものために家庭と学校が連携して～

「人権」とは、人間が人間らしく生きる権利で、人間はみんな生まれながらに持っています。日本国憲法でもすべての国民に保障されています。現在、子どもたちを取り巻く社会では人権が守られ、尊重されているでしょうか。残念ながら、いじめ問題やSNSでの誹謗中傷など、悲しい出来事が次々と起こっています。これらの問題を解決していくためには、学校と家庭が力を合わせ、一人一人の子どもを大切に人権教育を推進していかなければなりません。

本校では、相手の立場、気持ちや違いを認め思いやるとともに、人権問題を解決しようとする意欲と実践力を持った子どもの育成を目標にして、計画的に人権教育を行っています。様々な人権課題は、児童の発達段階にあわせて学習を進めています。学年を問わず取り組んでいることは、自尊感情を高めることや仲間づくりです。自尊感情とは、自分は必要な存在だ、役に立っているんだと思える大事な感情です。自尊感情に満たされた子は、周りの人も大切にすることができ、それは、仲間づくりにもつながっていきます。自分も仲間も大切にできる集団の中ではいじめや差別は生まれません。

そこで、保護者の皆様にお願ひがあります。我が子を見ていると、できてないことに目が向き叱ってしまうことが多くなりがちです。しかし、子どもたちは日々成長しています。できないことよりもできることに目を向け、たくさんほめてあげてください。ほめられると、自尊感情が高まり自信をもって様々なことに取り組める力もついていきます。学校でも、同じように一人一人のよさを認め、声かけをしていきますので、学校と家庭が一緒になって、子どもたちの自尊感情を高めていけたらと思います。

今を生きる子どもたちが、自尊感情を高め、人権問題を解決していく実践力を身につける事は、すべての人の人権が尊重される社会の実現へとつながります。子どもの幸せを願ひながら、地域・家庭・学校が連携して人権教育を推進していきたいと考えていますので、ご協力よろしくお願いいたします。

よりよい千松小学校を目指して ～委員会活動～

委員会活動は、学校生活をより楽しく豊かにするために学校内の仕事を自分たちで分担し、工夫しながら計画的に協力することによって、より望ましい集団活動ができることを目的として行われています。本校には、「栽培」「図書」「放送」「給食」「保健」「体育」「運営」「音楽」「ボランティア」「掲示」「美化・環境」の11の委員会があり、本の貸し出しや給食の受け渡し、放送、アルミ缶回収など学校生活に関わるさまざまな仕事を6年生が行っています。

子どもたちは、自分の仕事に責任をもって取り組み、学校をよりよくするために進んで仕事をしています。最高学年としての自覚をもち、活動に取り組む中で見つけた小さな気付きから、自分たちにできることを考え、実践しようとしている姿が見られるようになりました。これまでの6年生が仕事を大切につないできたことに感謝の思いを持ち、今度は5年生へとその思いも引き継いでいこうとする姿が日々の活動の中から感じられます。これからも千松小学校の伝統を引き継ぎ、よりよい千松小学校を目指して、子どもたちが主体的に活動できるよう、指導・支援に努めていきます。

災害に備える ～大切な命を守るために、今できること～

私たちを取り巻く自然災害のリスクは常に存在します。地震、台風、豪雨など、いつ、どこで発生してもおかしくありません。防災について考え、お子様と話し合い、防災意識の向上につなげる良い機会にしてほしいと考えています。

災害リスクと危険場所の確認

ご自身の住む地域にどのような災害リスクがあるか、事前に確認しておくことが非常に重要です。

○「重ねるハザードマップ」

国土地理院が運営するウェブサイトで、洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に重ねて表示できます。ご自宅の住所を入力することで、その地点の災害リスクを調べることが可能です。

○「わがまちハザードマップ」

各市町村が法令に基づき作成・公開しているハザードマップで、地域の危険箇所が示されています。



避難場所と避難所の違い

○避難場所：災害の発生やその他の危険から一時的に身を守るための場所です。

○避難所：災害により自宅での生活が困難になった方々が、一定期間避難生活を送る場所です。



災害時に役立つ情報入手手段

正確な情報を迅速に入手することは、適切な防災行動に繋がります。

○徳島県公式LINE アカウント

- ・徳島県は、2022年3月11日からLINEを通じて防災情報（気象情報、土砂災害警戒情報、避難所情報、通行規制など）を配信しています。



自宅や学校、よく遊びに行く場所など、お子様の行動範囲の災害リスクや避難場所などを一緒に確認することは、防災の第一歩です。放課後や休日を利用し、一度ご家族で見つめてみてください。

参考：徳島県立防災センター